

金沢市ごみ処理基本計画（第6期）概要案について
意見及び本市の考え方

No.	意見の概要	本市の考え方
1	概要案の「1. 計画策定の目的」、「2. 計画の位置づけ」、図-1にSDGsの目標12. 「持続可能な生産消費形態を」（つくる責任・つかう責任）に対応することを記載して欲しい。	SDGsについては、本計画の目的と関連性があることから、「第1章 1. 計画策定の目的」の項目で記載しました。
2	概要案の表-1について、埋立ごみと資源回収の分類別収集量とその回収・処分に掛かる費用を記載して欲しい。 (特に、環境負荷の大きい水銀含有製品と容器包装プラスチックについて)	第3章 表3. 4-1にて種類別ごみ排出量の実績を記載しました。 また、同章 表3. 10-1にてごみ処理に係る経費の実績を記載しました。
3	概要案の図-2～4について、グラフ縦軸に(t)や(%)の単位が脱落している。	ご指摘のとおり修正しました。
4	概要案の図-2について、実績値では家庭系と事業系のに分けているが、目標は一括しているのはおかしいのではないか。 実際に、本概要案の目標値では事業系ごみの排出量の目標値が設定されている。	第5期計画は、家庭系ごみ、事業系ごみを合わせた数値を目標として掲げていたことから、一括した数値で目標値を記載していますが、実績値については、詳細が分かりやすいように家庭系と事業系に分けて記載しています。
5	概要案の図-4の中で「サーマルリサイクル」と「マテリアルリサイクル」割合を示して欲しい。	本市の資源化率はすべてマテリアルリサイクルされた資源回収量を基にした数値です。
6	「金沢市人口ビジョン」による人口減少予測を織り込んだ数値目標に設定し、そのことを明記して欲しい。 また、5期計画と同様に「金沢市の概況」で人口について触れる場合、「金沢市人口ビジョン」による予測値を示して欲しい。	将来ごみ量の予測にて「金沢市人口ビジョン」を基にした人口推計を記載しました。
7	環境負荷が大きい容器包装プラスチックと水銀含有製品について、個々に実績と数値目標、取り組む施策を示して欲しい。	種類別ごみ排出量の実績を記載します。 また、代替製品や環境負荷の少ない製品の普及を推進します。
8	概要案の図-5、図-6の燃やすごみ組成調査の結果から、家庭系はプラスチックと再生可能紙類、生ごみを合わせると71.3%、事業系燃やすごみでは、再生可能な紙類と生ごみで62.2%であり、それぞれ7割と6割の削減ポテンシャルがある。 これに対してごみ排出量の目標数値が低いのではないか。	再生可能な紙類については、効率的なリサイクルルートの確立を図ることにより、大幅な減量化・資源化を見込むことができますが、生ごみなどについては、現状、資源化施設が少なく、資源化のルートを確立するには今しばらくの時間を要すると考えており、その点を考慮した目標値としています。

9	<p>現在、民間の回収量はどれくらいか把握できているのか。</p>	<p>ごみの排出や資源回収量は、国が定めた基準で集計し、ごみ処理基本計画に反映することとされているため、民間が独自のルートで回収した資源の排出量は市への報告義務がなく把握が難しいことをご理解ください。</p> <p>しかしながら、民間での回収も含めた社会全体での資源回収の取組みは重要と考えており、今後も市民・事業者の協力を得ながら、排出抑制や資源化の推進に努めます。</p>
10	<p>民間事業者が古紙やペットボトルなどリサイクル対象の資源を回収しており、かなりの回収量が予想される。</p> <p>これらの民間回収量を把握するため、公民連携の廃棄物量の把握も必要ではないか。</p>	
11	<p>プラスチック容器について、「不要という意見」と「必要という意見」があり、事業者単独では解決に限界があるため、市と事業者が連携して、市民に働きかける活動が重要でないか。</p> <p>これについて新たな「環境にやさしい買い物」について、公民連携の動きはあるのか。</p>	<p>現在、環境にやさしい買い物推進店などの事業者と協働で、エコバックの普及などの「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しています。今後も国のプラスチック資源循環戦略などを踏まえ、取組みを推進します。</p>
12	<p>食料自給率の低い日本で、まだ食べられる食品が大量に捨てられているのはもったいない。</p> <p>食品ロスを減らす取り組みを行ってほしい。</p>	<p>来年度、食品ロス削減推進計画を策定することとしており、その中で具体策を検討します。</p>
13	<p>使用済みのクレジットカードなど、ごみの分別で判断に迷うものがある。</p> <p>分別例をもっと詳しくしてほしい。</p>	<p>これまでも、「ごみ分別辞典」の冊子やスマートフォンアプリの「5374App」、市民と協働で作成した「金沢もったいないじい〜典」、ホームページなどで、ごみの分別方法や資源のリサイクルについて、周知を行っています。引き続き、様々な媒体を活用し、市民に分かりやすい広報に努めます。</p>
14	<p>分別された資源ごみが、どのようにリサイクルされているのかわからないので、具体的にどのようなものにもリサイクルされるか示してほしい。</p>	